



# 鼓童

KODŌ  
ONE EARTH TOUR '98

(財) 茨木市文化振興財団第16回公演

平成10年10月7日[水]

■午後7:00開演 (午後6:30開場)

茨木市市民会館 大ホール

茨木市駅前4-7-50  
(阪急京都線茨木市駅から西へ徒歩10分・JR京都線茨木駅から東へ徒歩10分)

1階席：一般前売=3,000円

割引前売=2,000円

入場料 (全席指定) 2階席：一般前売=2,000円

割引前売=1,300円

※割引対象/高校生以下・65歳以上・障害者及びその介護者の方

【チケット発売開始日】  
7月10日(金)

【チケット取扱所】

(財) 茨木市文化振興財団 0726-25-3055

ローソン・チケット 06-369-6633 [Lコード: 58488]

チケット・セゾン 06-232-9999

チケットぴあ 06-363-9999

※割引券の取り扱いは、茨木市文化振興財団のみです

【お問い合わせ・電話予約】

(財) 茨木市文化振興財団 0726-25-3055

月～金 9:00～17:15 (土、日、祝日は休業)

〒567-0888 茨木市駅前4-6-16 茨木市クリエイティブセンター1F

【お問い合わせ】(財) 大阪府文化振興財団 06-449-5737

【主催】大阪府/ (財) 大阪府文化振興財団/ (財) 茨木市文化振興財団



# 鼓童 ワン・アース・ツアー<ひとつの地球>'98

1998・10・7 [水] 19:00

茨木市市民会館大ホール

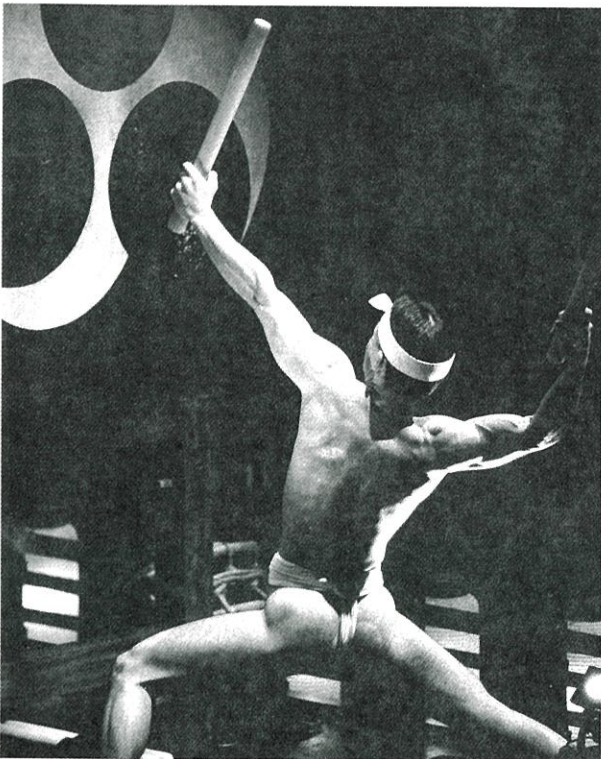
## 鼓童 こどう

日本の和太鼓の古くからの伝統(でんとう)をマスターするとともに、世界の音楽からも学び、現代を生きる私たちにフィットする太鼓として、よみがえっています。

《鼓童》という名前は、赤ちゃんがお母さんの胎内(たない)にいるときから聞いてきた、心臓の動き<鼓動>にちなむとともに、わらべ(童)のように無心(むしん)に太鼓を叩きたいという願いがこもっています。

1981年(昭和56年)、ドイツのベルリン音楽祭でデビューして以来、海外公演、国内公演、本拠地の新潟県・佐渡での活動と、それぞれ一年のほぼ3分の1づつの活動をしてきています。

鼓童の太鼓の力強さと優しさは、これまでの日本の太鼓がもっていたイメージをはるかに越えて、国内は言うにおよばず、世界中の人々に大きな感動で受けとめられています。



## 佐渡 さど

鼓童が本拠地に行っている新潟県・佐渡は、かつては北前船と呼ばれる交易船によって日本中の文化がここに集まって独特の文化をつくってきました。

また、四季折々の表情を見せてくれる佐渡の自然と共に生きる人々の生活が、太鼓を打つ感性も育んできたのです。

その佐渡の伝統と自然の中から学び、いま“鼓童”の太鼓が、大きくはばたいています。

## ONE EARTH TOUR ワン・アース・ツアー

地球には、さまざまな人々が、さまざまな文化をもって生きています。そうした人々がお互いをみとめあい、共存していくことは、今もっとも大切なことのひとつです。太鼓は昔から人と人、人と神をつなぐ役割を果たしてきました。鼓童は「ワン・アース〜ひとつの地球」というねがいのもとに、言葉を越えた「ともに感じる劇場」をつくるために、茨木へもやってきたのです。



## 鼓童の舞台

クライマックスを飾る  
大太鼓、屋台囃子

### 大太鼓 (おおだいこ)

直径三尺九寸、一本の木をくりぬいて作った宮太鼓を、表と裏に分かれた二人の打ち手が演奏します。裏打ちとよばれる一人が、心臓の鼓動のように地(ぢ)のリズムを刻み、もう一人がそれに乗って自由に打ち込んでいきます。この大太鼓が打ちだす響きには、限らないイメージがひろがります。耳だけではなく、どうかあなたの全身で体感してください。

### 屋台囃子 (やたいばやし)

毎年12月3日、埼玉県秩父で行なわれる夜祭りには、各地から山車(だし)が練り出されます。「屋台囃子」は十数トンもの重さの山車を引っ張る曳き子(ひきこ)たちの息を合わせ鼓舞するために演奏されました。鼓童のものは、現地の「屋台囃子」とは地打ち(ぢうち)が少し異なりとともに、テンポも速くなり現代に生きる私たちに訴えかけるものになっています。

